

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	スポーツ振興事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア 教育機会の充実	
担当部課名	市民部経済文化局	文化スポーツ振興課	事業実施年度	令和1 ~ 令和1年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	体育施設の整備によりスポーツコンベンションの推進を図り、次世代の活動へつなげる交流の場の構築を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額	9,526				9,526	
	B. 執行済額	8,360				8,360	
	うち 交付金充当額	6,688				6,688	
	執行率(%) (B/A)	87.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	87.8%	
執行状況の説明	競技用仮設コート設置にかかる費用が不要となったことによる差額。減額変更にて対応済み。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	体育施設への高機能床材(タラフレックス)を導入する。	目標	床材導入				
		実績	導入完了				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	体育施設への高機能床材(タラフレックス)を導入する。	目標	床材導入				
		実績	導入完了				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R1年度	R2年度 目標/発現年度			
日本ハンドボールリーグ公式戦開催回数:3回以上/年	目標	—	3回以上	—	—	—
	実績	—	2回	—	—	—
室内競技のスポーツ合宿団体数:1団体以上/年	目標	—	1団体以上	—	—	—
	実績	—	なし	—	—	—

事業完了後の成果目標 状況説明	【R2年度】 ・日本ハンドボールリーグ公式戦が1試合減となった。※日本ハンドボール協会の決定による。 ・東京オリンピックが延期となった為、デンマークハンドボールチームの事前合宿も延期となった。 ・小中学生交流試合等実施。
	【R3年度】 ・東京オリンピックに出場するデンマークハンドボールチームの事前合宿を実施予定。 ・日本ハンドボールリーグ、小中学生交流試合等実施予定。
	【R4年度】 ・日本ハンドボールリーグ、小学生交流試合等実施予定。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R2年度】 ・高機能床材を導入したことで日本トップリーグの試合を開催することができた。選手から高評価を得た。また、小中学生も同コートで交流試合等を実施し、トップレベルの環境を体感できた。	【R3年度】 ・国外チームの合宿及び日本ハンドボールリーグが開催される予定である。更なる効果を得るために、その他団体にもトップレベルの環境を体験させる。 【R4年度】 ・更なる効果を得るために、高機能床材の効率化を図り、各種大会及び交流試合等のrい利用増を検討する。 【R5年度】 ・更なる効果を得るために、高機能床材の効率化を図り、各種大会及び交流試合等のrい利用増を検討する。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)
【R3年度】 ・デンマークハンドボールチーム、日本ハンドボールリーグ、沖縄県ハンドボール協会と連携を密にし、事業実施に取り組む。
【R4年度】 ・日本ハンドボールリーグ、沖縄県ハンドボール協会、浦添市ハンドボール協会と連携を密にし、事業実施に取り組む。
【R5年度】 ・日本ハンドボールリーグ、沖縄県ハンドボール協会、浦添市ハンドボール協会と連携を密にし、事業実施に取り組む。

市町村名		沖繩振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】					
事業名	浦添市来々来々推進事業			沖繩21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 国際的な沖繩観光ブランドの確立		
担当部課名	都市建設部	都市計画課	事業実施 年度	平成 24	令和 1	年度 沖繩振興基本方針 該当箇所	III-1-(1)
事業内容	市既存の観光資源の活用及び新たな観光資源を創出に向けた各種施策の実施につなげるため、課題抽出及び取組施策に向けた調査を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	8,047	8,100	6,100	2,600	24,847	
	B. 執行済額	7,560	7,279	6,080	2,365	23,284	
	うち 交付金充当額	6,048	5,823	4,864	1,892	18,627	
	執行率(%) (B/A)	93.9%	89.9%	99.7%	91.0%	93.7%	
執行状況の説明	当初計画していた事業実施内容のほか、活動目標・成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	【屋富祖・オリオン通り周辺地区】 ・まちづくり協議会開催 ・屋富祖通り周辺地区土地活用調査等	目標	基本構想策定	基本計画案作成	協議会(2回) 説明会実施 施策検討	協議会(2回) 説明会実施 施策検討	協議会(2回) 施策検討
		実績	基本構想策定	基本計画案作成	協議会2回実施 説明会実施 施策検討実施	協議会2回実施 説明会実施 施策検討実施	協議会2回実施 施策検討実施
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	屋富祖・オリオン通り周辺地区における「まちづくり基本計画の実現に向けた施策(案)」の完成	目標	基本計画案作成	基本計画の策定	施策案の作成	施策案の作成	
		実績	基本計画案作成	基本計画の策定	土地利用基本計画 構成図の作成	施策案の作成	
	【R2成果目標】 地区ごとのまちづくり基本計画(施策案)を 基に、住民の生活環境の向上、新たな観光 スポットの創出及び観光誘客を目的とした 事業の実施につなげる。	目標					事業の実施につ なげる
		実績					事業化には至って いない
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)	達成/進捗状況				
		R2年度 目標/発現年度			
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標	事業の実施につなげる			
	実績	事業化には至っていない			
地区ごとのまちづくり基本計画(施策案)を基に、住民の生活環境の向上、新たな観光スポットの創出及び観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	目標				
	実績				

事業完了後の成果目標	状況説明	【R2年度】 ・まちづくり協議会と継続的に意見交換を実施している。 ・事業者へ基本計画施策案による整備を検討するよう要望。
		【 年度】
		【 年度】

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R2年度】 ・地域において、まちづくりへの期待や機運の向上を確認できた。 ・まちづくり協議会において、独自の運営による継続的な活動を検討している。	【R2年度】 ・事業者と意見交換を一度実施したが、コロナの影響もあり、2回以降の開催が持てなかった。今後は継続的に話し合いの場が持てるように検討する。
【 年度】	【 年度】
【 年度】	【 年度】

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R3年度】 ・まちづくり協議会と継続的に意見交換を実施予定。
【 年度】
【 年度】

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-(7) 沖縄らしい風景づくり	
担当部課名	都市建設部	道路課	事業実施 年度	平成 24	令和 元	事業方針 該当箇所	
事業内容	浦添グスクの麓に位置する仲間地区において、城下まちにふさわしい魅力的な観光地としての景観形成(道路景観の創出)を図るため、コーラル舗装をイメージしたカラーアスファルト舗装を施す。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～28年度	29年度	30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	10,000	15,000	5,010	2,958	32,968	
	B. 執行済額	10,000	15,000	5,007	2,958	32,965	
	うち 交付金充当額	8,000	12,000	4,000	2,366	26,366	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%	
執行状況の説明	・最終的な執行率は100.0%となり。概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	仲間地区主要道路の美装化工事 カラーアスファルト舗装	目標	560㎡	450㎡	640㎡	210㎡	134㎡
		実績	451㎡	429㎡	745㎡	241㎡	134㎡
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	全体計画 7,246㎡ 平成30年度末時点 7,112㎡整備済 令和元年度末時点 7,246㎡整備済予定	目標	5,806㎡	6,147㎡	6,766㎡	7,081㎡	7,246㎡
		実績	5,697㎡	6,126㎡	6,871㎡	7,112㎡	7,246㎡
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	○年度	R2年度 目標/発現年度
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、来訪者を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標	-	80%以上	80%以上	80%以上
			実績	未実施	94.8%	97.1%	未実施
			目標				
		実績					
状況説明		<p>【H30年度】 ・事業についてのアンケートより、良好な意見は目標値80%以上に対し、94.8%と上回った。</p> <p>【R1年度】 ・事業についてのアンケートより、良好な意見は目標値80%以上に対し、97.1%と上回った。</p> <p>【R2年度】 ・コロナウィルスの影響による、イベントの中止、歴史資料館の来訪客減少のためアンケート未実施。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・アンケート結果からも事業に対して良好な意見が多く、舗装整備により城下まちにふさわしい魅力的な観光地としての景観形成に寄与しているものと考えられる。</p> <p>【R1年度】 ・去年度同様、良好な意見が多く、景観形成に寄与しているものと考えられる。</p> <p>【R2年度】 ・イベント中止、歴史資料館来訪者減少に伴い、アンケート未実施。</p>			<p>【H31年度】 ・幅広く多くの意見を得るため、各イベントでのアンケートや地域住民に特化したアンケート実施を行う。</p> <p>【R1年度】 ・幅広く多くの意見を得るため、各イベントでのアンケートや地域住民に特化したアンケート実施を行う。</p> <p>【R2年度】 ・未実施のため今後アンケートを引き続き行い、他事業と連携したアンケートを行えないか検討する。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R3年度】 ・概ね高い満足度が得られており、仲間地区及び周辺地区の未整備道路について事業化の検討を行う。</p>							

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	浦添市観光振興計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開		
担当部課名	市民部経済文化局	観光振興課	事業実施年度	平成28 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	顕著に推移する沖縄県の観光産業を下支えするため、浦添市の観光振興の指針となる浦添市観光振興計画策定を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計	
	A. 予算現額	6,987	13,986	-	-	20,973	
	B. 執行済額	6,987	13,986	-	-	20,973	
	うち 交付金充当額	5,590	11,188	-	-	16,778	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	-	-	100.0%	
執行状況の説明	当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標及び成果目標の達成状況に鑑みて適正であった。						
事業期間中の 活動目標	観光振興計画策定に向けた調査業務	活動目標(指標)	達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標	1件	-	-	-	-
		実績	1件	-	-	-	-
	観光振興計画策定に向けた支援業務	目標	1件	-	-	-	-
		実績	1件	-	-	-	-
観光振興計画の策定	目標	-	策定	-	-	-	
	実績	-	策定	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	調査・支援業務報告書の完了	進捗状況	達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		目標	1件	-	-	-	-
		実績	1件	-	-	-	-
	観光振興計画の策定完了	目標	-	完了	-	-	-
		実績	-	完了	-	-	-
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	浦添市観光振興計画に基づき、観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	目標	-	-	-	-	つなげる
		実績	-	-	-	-	-
状況説明	<p>【H30年度】 ・浦添市観光振興計画の進捗管理について、「浦添市観光振興審議会」を開催し、その中で経済効果等を測定する専門部会を設置した。</p> <p>【R1年度】 ・浦添市観光振興計画の進捗管理として、関連施策の担当部署に進捗評価をしてもらい、取りまとめた。 ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて進捗状況の確認を行い、今後の施策に対しての意見を聴取した。</p> <p>【R2年度】 ・関連施策の担当部署からの進捗評価を取りまとめ、「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて進捗状況を説明し、今後の施策への意見を聴取した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で観光客が激減し、有効な指標検証ができないことが想定されたため、計画の中間見直し、見直しのための実態調査について、実施を見送った。</p>						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【H30年度】 ・令和元年に開業する大型商業施設やモノレール新駅開業及びその周辺開発など様々な環境が変化していく要因があることから、本計画が柔軟に対応できる体制作りが求められる。</p> <p>【R1年度】 ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて行った進捗評価をもとに各施策の評価を行い、関連部署との連携を図った。 ・大型商業施設の開業やモノレール新駅開業など観光客の増加がみられる環境の変化もあったが、新型コロナウイルスの影響から観光へ甚大な影響を被る可能性がある。</p> <p>【R2年度】 ・「地域の歴史・文化・芸能の保存・活用」、「官民による観光まちづくり推進体制の構築」については、ほとんどの施策で「概ね進行している」との評価を受けた。しかし一部「進行しているとはいえない」との評価も受けた。 ・「施設を核とした賑わいの創出」「来訪者及び市民にも訴求する浦添市の情報発信の強化」「受け入れ施設の整備・充実」について、「概ね進行している」との評価を受けた。 ・「マーケティング情報のフィードバックの仕組みづくり」については、「進行しているとはいえない」との評価を受けた。</p>	<p>【H30年度】 ・本計画では、前期(3年)、後期(5年)にわけて実施していくこととなるが、計画期間の8年で本市の情勢や環境は大きく変化していくものと思われる。そこで定期的な調査を実施し、「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて、有識者との連携を図り、適宜適切な計画の見直しを行う。</p> <p>【R1年度】 ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて行った進捗評価を施策の担当部署にフィードバックすることで、更なる事業の推進を図る。 ・新型コロナウイルスの影響で観光産業が全体的に下火になる中、計画及び各施策についても見直しを図る必要がある。</p> <p>【R2年度】 ・「一部進行しているとはいえない」と評価された施策は「修学旅行への取り組み」「イベントの充実」で、その理由は新型コロナウイルス感染症の影響から実施が中止・延期されたことである。県内の感染状況を把握し、対策を徹底した安心・安全な実施方法を模索して改善していく。また、「店舗の魅力化」では、事業者が市の実施事業や計画を把握できていないことが多かったため、効果的な周知方法を検討・実施していく。 ・「概ね進行している」と評価された施策についても、「施設を核とした賑わいの創出」では、既存施設のさらなる賑わい創出の工夫・改善に取り組みつつ、新たな観光拠点施設づくりを推進していく。 ・「マーケティング情報のフィードバックの仕組みづくり」では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、正確な調査結果が得られない可能性があったため、市場調査を令和3年度に延期した。観光客の実態やニーズを正確に把握するため、新型コロナウイルス感染症の影響を加味したマーケティング調査を行う。</p>

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【H30年度】 ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」での有識者の知見を踏まえた進捗管理を行い、観光振興に向けた取り組みを推進する。 ・令和2年度に計画中間見直しを実施するにあたり、効果的な調査方法を検討する。 ・本計画の取り組みを推進していく上で、関係部署及び関係団体との連携強化を図る。</p> <p>【R1年度】 ・令和2年度の計画中間見直しへ向けて、指標検証のための調査方法を更に精査する。 ・新型コロナウイルスの影響を把握しながら、新たな時代を見据えた計画の見直しを検討する。</p> <p>【R2年度】 ・新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら、観光支援・復興計画の策定、観光振興計画の見直しに取り組み、安全安心な観光地整備、非来訪型のためのオンラインコンテンツの開発等、withコロナ、afterコロナ時代の観光振興に取り組んでいく。 ・今まで収集したデータや調査結果を活用し、本市観光の現状、来訪観光客のニーズを反映させた後期観光振興計画を策定してデータに基づいた観光施策を推進していく。</p>

市町村名		浦添市				
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア 臨港・臨空型産業の集積による国際物流拠点の形成
担当部課名	企画部 西部開発局	西海岸開発課	事業実施年度	平成28 ~ 平成28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(3)
事業内容	<p>新港ふ頭の国際コンテナターミナルには、冷凍食品等低温輸送用コンテナのため既存のリーファー電源が設置されているが、年々増大している冷凍冷蔵コンテナ需要に対応するため、さらなる増設を行い、那覇港における取扱貨物量の増加を図る。</p> <p>【施設概要】 リーファー電源 440V (2段×10口、1段×2口、計22口)</p>					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	○年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額	6,606				6,606
	B. 執行済額	5,593				5,593
	うち 交付金充当額	4,474				4,474
	執行率(%) (B/A)	84.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	84.7%
執行状況の説明	<p>・リーファー電源の設置箇所の選定に伴う調整に不測の時間を要したことから、H29年度に繰越した。</p> <p>当初は、既存の電気室を増築し、リーファー電源の増設を行う予定であったが、既存の電気室の容量が22口分の増設まで対応可能であり、電気室の設計が不用となったため、予算に一部不用が生じた。</p>					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			H28年度	○年度	○年度	○年度
	リーファー電源及び電気室の実施設計の実施	目標	実施設計の実施			
		実績	実施設計の実施			
リーファー電源10口設置工事の実施	目標	10口				
	実績	22口				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			H28年度	○年度	○年度	○年度
	リーファー電源及び電気室の実施設計完了	目標	実施設計完了			
		実績	実施設計完了			
リーファー電源10口設置完了	目標	10口設置完了				
	実績	22口設置完了				

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量の増加		目標	—	—	—	—
		実績	70万トン	71万トン	75万トン	78万トン (※速報値)	
状況説明		【H29年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 【H30年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 【R1年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 【R2年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量(速報値)は増加している。					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【H29年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は、順調に推移している。 ・好調な沖縄経済を反映し、「製造食品」等の取扱貨物量が増加していることが一つの要因と考えられる。</p> <p>【H30年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 ・新港ふ頭地区に那覇港総合物流センターが次年度開業することに伴い、取扱貨物量は今後さらに増加していくものと見られる。</p> <p>【R1年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 ・新港ふ頭地区に那覇港総合物流センターが開業した事などが増加の要因と考えられる。</p> <p>【R2年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。 ・新港ふ頭地区に那覇港総合物流センターがR1年度に開業した事などが増加の要因と考えられる。</p>	<p>【H29年度】 ・那覇港総合物流センターの整備を進め、取扱貨物量の増加を図る。</p> <p>【H30年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集貨・創貨の取組促進のため、運営事業者による施設の運用状況を定期的にモニタリングしていく必要がある。</p> <p>【R1年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集貨・創貨の取組促進のため、運営事業者による施設の運用状況を定期的にモニタリングしていく必要がある。</p> <p>【R2年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集貨・創貨の取組促進のため、運営事業者による施設の運用状況を定期的にモニタリングしていく必要がある。</p>
--	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【H29年度】 ・引き続き那覇港総合物流センターの整備をすすめ、集貨・創貨による取扱貨物量の増加を図る。</p> <p>【H30年度】 ・那覇港総合物流センターの開業後は、月に1度モニタリング会議により事業者の集貨・創貨計画の取組状況を確認し、必要に応じて指導・勧告を行う。</p> <p>【R1年度】 ・今後も月に1度のモニタリング会議を継続し、事業者の集貨・創貨計画の取組状況を確認するとともに、必要に応じて指導・勧告を行う。</p> <p>【R2年度】 ・今後も月に1度のモニタリング会議を継続し、事業者の集貨・創貨計画の取組状況を確認するとともに、必要に応じて指導・勧告を行う。</p>
--

市町村名		浦添市				
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ 臨港・臨空型産業の集積による国際物流拠点の形成
担当部課名	企画部 西部開発局	西海岸開発課	事業実施年度	平成28 ~ 平成28 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(3)
事業内容	離島航路の維持・改善及び離島振興に向けて、排出ガス削減、騒音抑制など良好な港湾環境の改善を図るため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備した。 【施設概要】高圧受変電設備:3箇所(電源供給対象船舶)フェリーとかしき、フェリーざまみ、粟国フェリー 電圧:6600V 全出力:350kW 屋外型					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	○年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額	4,342				4,342
	B. 執行済額	4,222				4,222
	うち 交付金充当額	3,378				3,378
	執行率(%) (B/A)	97.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.2%
執行状況の説明	当該施設を利用する各船社との協議を踏まえ、受電設備の仕様を見直したことにより、不測の日数を要した。また、当該施設の配置検討において関係者との調整に不測の日数を要したことから、12,264千円をH29年度に繰り越した。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			H28年度	○年度	○年度	○年度
	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設の実施設計並びに整備工事の実施	目標	実施			
		実績	実施			
		目標				
		実績				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			H28年度	○年度	○年度	○年度
	陸上電力供給施設整備 3基	目標	実施			
		実績	実施			
		目標				
		実績				

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
	観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか(80%以上)を含め、船舶運航事業者へのアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	目標	-	-	-	-
	実績	未実施	未実施	未実施	未実施	
状況説明	<p>【H29年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中。</p> <p>【H30年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中。</p> <p>【R1年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中。</p> <p>【R2年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【H29年度】 ・対象船舶を利用する乗降客は増加傾向にある。 当該施設の設置にあたっては、事前に関係者とその仕様、及び設置場所について協議を行っていることから、快適な環境づくりに寄与しているものと考えられる。</p> <p>【H30年度】 ・対象船舶を利用する乗降客は引き続き増加傾向にある。 当該施設の設置にあたっては事前に関係者とその仕様、及び設置場所について協議を行っていることから、快適な環境づくりに寄与しているものと考えられる。</p> <p>【R1年度】 ・対象船舶を利用する乗降客は増加傾向にある。 当該施設の設置にあたっては事前に関係者とその仕様、及び設置場所について協議を行っていることから、快適な環境づくりに寄与しているものと考えられる。</p> <p>【R2年度】 ・当該年度における対象船舶を利用する乗降客は新型コロナウイルス感染症の影響等により昨年度より減少した。 ・なお、当該施設の設置にあたっては、仕様や設置場所等について、関係者との事前調整により実施し、快適な環境づくりに寄与しているものと考えられる。</p>			<p>【H29年度】 ・観光客を受け入れる港として快適な環境づくりを実現するためには、本事業に加えて、屋根付き歩道の整備や、多言語標識の整備等により観光客の更なる満足度向上を図る必要があることから、アンケートの内容、実施時期について今後検討を行う必要がある。</p> <p>【H30年度】 ・泊ふ頭を利用する観光客の満足度向上に向けて、次年度以降、屋根付き歩道や多言語標識の整備を行うための事前準備を進めるとともに、アンケートの内容、実施時期について検討を行う。</p> <p>【R1年度】 ・泊ふ頭において引き続き屋根付き歩道や多言語標識の整備を進めるとともに、令和2年度中のアンケート実施に向けて関係者と調整を行う。</p> <p>【R2年度】 ・泊ふ頭においては、引き続き、屋根付き歩道等の整備を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、安全で快適な環境づくりに向けて検討する。また、令和3年度中のアンケート実施に向けて関係機関と調整を行う。</p>			
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【H29年度】 ・船舶運航事業者へ向けて実施するアンケートの内容及び実施方法について検討を行う。</p> <p>【H30年度】 ・屋根付き歩道の整備や多言語標識の整備に向けた準備を進め、泊ふ頭地区における観光客の更なる満足度向上を図る。</p> <p>【R1年度】 ・令和2年度中のアンケート実施に向けて、関係者との調整を実施する。</p> <p>【R2年度】 ・屋根付き歩道等の整備や新型コロナウイルス感染対策を引き続き実施する。 ・令和3年度中のアンケート実施に向けて、関係者との調整を実施する。</p>						